

県民の「いのち」を守る「地域の守り手」

～社会貢献企業（災害協定等締結業者）～

近年、豪雨災害が激甚化・頻発化し、各地で甚大な被害が発生しています。また、昼夜を問わず交通事故等が発生し、交通への影響がみられます。社会貢献企業（災害協定等締結業者）が、自然災害や事故発生時に、事務所管内の公共施設（道路・河川等）のパトロール及び予防的処置、応急復旧工事等に「地域の守り手」として活躍しています。今回は安全確保に着目して、活動内容等をご紹介します。【写真提供：協会各支部】



【道路パトロールと落下物の撤去作業】

台風や大雨などの異常気象の後には、道路への落下物や土砂等の飛散が見られます。道路の安全確保を図るため、社会貢献企業が対応します。



【街路樹の点検と剪定作業】

街路樹等の管理には、パトロールや道路利用者からの情報提供により、道路交通や道路利用者等へ及ぼす危険の未然防止に努めています。地域に精通している社会貢献企業も、道路等の状況把握の役割を担っています

【県民の「いのち」を守る「地域の守り手」のご紹介】

平塚土木事務所の管内には、平塚・秦野・伊勢原といった3つの建設業協会の支部があります。今回は伊勢原支部のご紹介です。

【伊勢原支部からのメッセージ】

神奈川県建設業協会伊勢原支部は、市内土木・建設事業者23社が在籍しています。本支部は、伊勢原市建設業協会と共に事業展開し、市民生活に重要な、道路や河川等の社会基盤であるインフラの整備や維持を行うと共に、地震・台風等の災害時には、素早く被害の復旧対応にあたる事ができるよう、県・市と災害時協定を締結しています。

地域の企業として、地域の安全・安心を守るため、会員一同がその役割を認識し取り組んでいます。取り組みとして 県・市の防災訓練への参加、大雨時の河川や道路パトロール、大雪時の除雪なども実施し、さらに社会貢献活動では、市民生活の環境整備として道路法面の草刈りや、市民行事の道灌祭り等への参加をするなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。



道路法面の草刈り活動（ボランティア）

工事における作業員や歩行者等に対する「安全点検」



実戦的な『防災訓練』 ～ 電柱倒壊を想定した作業 ～

